

令和2年度 カラスの鳴き声による誘導捕獲実験について

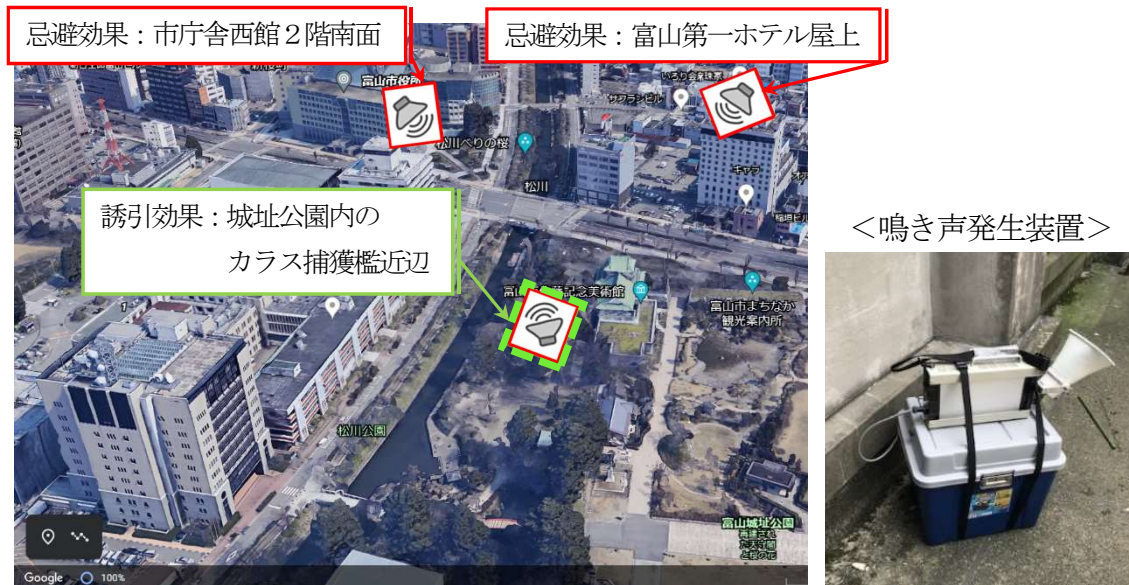
1 概要

カラスの捕獲数を増加させることを目的として、カラスが餌を見つけたときの鳴き声や安全を知らせる鳴き声、危険を知らせる鳴き声等を発生する装置を捕獲檻やビルの屋上等に設置し、カラスの鳴き声による忌避・誘引効果を活用した誘導捕獲実験を実施したため、その結果について報告するもの。

【鳴き声発生装置の設置場所】

忌避効果：市庁舎及び富山第一ホテルの2箇所

誘引効果：城址公園内のカラス捕獲檻近辺の1箇所



※年末年始や祝日、生息数調査時等は鳴き声を発生させなかった。

2 結果

誘導捕獲実験を開始した6月22日以降の城址公園におけるカラスの捕獲数を、鳴き声を発生させた期間（月曜日から木曜日：累計日数140日間）と発生させない期間（金曜日から日曜日：累計日数140日間）で比較したところ、鳴き声を発生させた期間に捕獲したカラスは956羽であったのに対し、発生させない期間に捕獲したカラスは787羽であり、発生させた期間の方が捕獲したカラスは169羽多かった。

このことから、鳴き声発生装置にはカラスの捕獲数を増加させる効果が一定程度あるものと考えられる。